

高める

守る

輝く

# あいち

## 社会資本整備方針

～未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり～

# 2025



# 目次

---

はじめに .....	5
<b>第1章 時代の潮流と本県の社会資本を取り巻く環境 .....</b>	<b>6</b>
1. 人口動向、経済状況、産業状況 .....	6
(1) 人口動向 .....	6
(2) 経済状況・産業状況 .....	7
2. リニアの整備進展 .....	8
3. 発生が懸念される南海トラフ地震 .....	9
4. 気候変動に伴う風水害 .....	10
5. インフラ老朽化の進行 .....	11
6. 厳しい交通事故情勢 .....	12
7. 国内外の交流拡大 .....	13
8. 持続可能な社会の実現 .....	14
9. 第4次産業革命の到来 .....	15
<b>第2章 未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり（取組方針） .....</b>	<b>16</b>
1. あいちを高める .....	16
(1) 陸・海・空一体の国際競争力の強化 .....	16
① 広域幹線道路ネットワークの強化 .....	16
② 空港・港湾へのアクセス道路の強化 .....	17
③ 生産拠点への物流を支える道路の強化 .....	17
④ リニアの建設促進 .....	18
⑤ リニア開業を見据えた公共交通ネットワークの充実・強化 .....	18
⑥ 港湾の整備推進（名古屋港・衣浦港・三河港） .....	19
⑦ 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進 .....	21
⑧ ジブリパークの整備による愛・地球博記念公園のさらなる進化 .....	22
(2) 地域の活性化 .....	23
① 集約型まちづくりの推進 .....	23
② 都市間・地域内道路ネットワークの強化 .....	24
③ 有料道路コンセッションの取組継続 .....	24
④ 公共交通ネットワークの形成 .....	25
⑤ 鉄道高架事業の推進 .....	26
⑥ 適正な土地利用への誘導 .....	27
⑦ 活力ある産業・住宅用地の確保 .....	27
⑧ 地籍整備の推進 .....	28

---

# 目次

---

⑨ 地域の特性を活かした緑のまちづくりの推進.....	29
⑩ 水資源の安定確保.....	29
<b>2. あいちを守る</b> .....	<b>30</b>
(1) 地震・津波対策.....	30
① 緊急輸送道路等の整備及び橋梁の耐震化.....	30
② 港湾・漁港施設の耐震化.....	31
③ 河川・海岸施設の耐震化.....	31
④ 下水道施設の耐震化.....	32
⑤ 住宅・建築物の耐震化.....	32
⑥ 無電柱化の推進.....	33
⑦ 防災・減災に資する緑とオープンスペースの保全と創出.....	34
⑧ 事前復興まちづくりに向けた支援.....	34
(2) 風水害対策.....	35
① 洪水対策.....	35
② 高潮対策.....	36
③ 土砂災害防止対策.....	37
④ 落石等防止対策.....	38
(3) インフラ老朽化対策.....	39
① メンテナンスサイクルの確実な実施.....	39
(4) 交通事故対策.....	44
① 幹線道路における交通事故対策の推進.....	44
② 歩行者・自転車優先の道づくりの推進.....	45
(5) 山間・離島対策.....	46
① 山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化.....	46
② 漁村地域の暮らしを支える漁港の整備推進.....	47
<b>3. あいちが輝く</b> .....	<b>48</b>
(1) 地域の魅力向上.....	48
① 観光地へのアクセス道路の整備と「道の駅」の整備支援.....	48
② みなとまちづくりの推進.....	49
③ 航空機産業をベースとした産業観光の強化.....	49
④ 市街地再開発事業等の促進.....	50
⑤ 地域コミュニティを育む場としての緑の活用.....	51
⑥ 美しい愛知づくりの推進.....	51
⑦ かわまちづくりの推進.....	52
(2) 快適な生活空間の創出.....	53
① QOL（生活の質）の向上に貢献する身近な緑とオープンスペースの確保.....	53

---

# 目次

---

② 下水道整備による快適な生活環境の保全・創出	53
③ 下水道事業における広域化・共同化	54
④ 住宅セーフティネットの重層化	55
⑤ 高齢者向け賃貸住宅の供給促進	56
(3) 自然環境の保全・創出	57
① 港湾緑地の整備推進	57
② 海域環境の改善	57
③ 緑の恩恵を享受していくための生物多様性への配慮（都市の緑の保全・創出）	58
④ 多自然川づくりの推進	58
⑤ 下水道整備による健全な水環境の保全・創出	59
(4) 循環型社会の構築	60
① 下水道エネルギーの有効活用	60
② 環境に配慮した建築物・住宅の普及啓発	60
③ あいくる材の利用促進	61
<b>第3章 取組を支える方策</b>	<b>62</b>
(1) 事業の選択と集中	62
(2) 事業の評価	62
(3) 建設業の働き方改革と担い手の確保・育成	63
① 建設現場の労働環境改善	63
② イブニングサロン・出前講座・現場見学会の開催	63
(4) 社会資本整備のデジタル化	64
① i-Construction の推進	64
② 統合情報データベース基盤の整備推進	64
(5) 民間活力の活用	65
① 有料道路コンセッションの取組継続	65
② 県営都市公園における民間活力の活用	65
③ 下水道事業における官民連携（PPP/PFI等）の活用	66
④ 県営住宅建替における PFI 方式の活用	66
⑤ 指定管理者制度の活用	67
(6) 関係機関との協力体制の強化・充実	68
① 防災協定の強化・充実	68
② BCP の強化・充実	68
(7) 市町村への支援	69
① 「市町村まちづくり支援窓口」による技術的支援	69

---

# 目次

---

(8) まち歩きイベントの開催.....	69
① ブラアイチの開催.....	69
<b>第4章 取組指標.....</b>	<b>70</b>

※各取組は、主たる効果に関連する取組方針に記載。

## はじめに

### <策定趣旨>

愛知県では、時代のニーズに応じた社会資本の果たすべき役割を見定め、2005年に「建設部門の社会資本整備方針」、2010年に「これからの社会資本整備の考え方（建設部方針）」、2015年に「愛知県建設部方針2020」を策定し、社会経済活動や安全で安心な県民生活などを支える取組を進めてきた。

2022年秋の開業を目指すジブリパークや、2026年のアジア競技大会の開催、2027年度のリニア中央新幹線（以下「リニア」という。）東京・名古屋間開業といった愛知のさらなる飛躍につながるプロジェクトが進んでおり、社会資本が果たす役割は一層重要になっている。一方で、少子高齢化、発生が懸念される南海トラフ地震、気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害、進行するインフラ老朽化など、社会資本を取り巻く環境は一段と厳しさを増している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人々の生活や経済活動が危機に直面している。

このような状況の中、現行の「愛知県建設部方針2020」が計画期間の終了を迎えるため、本県の行財政改革についての中期的な目標や考え方を示す「あいち行革プラン2020」（2019年策定）や2040年頃の社会を展望し、2030年までに取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン2030」（2020年11月策定）を踏まえ、2025年度までに建設部門が進めていくべき取組方針を示す「あいち社会資本整備方針2025」を策定する。

### <理念>

#### ～未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり～

日本一元気な愛知として日本経済の力強い回復や日本の成長を牽引し、県民の生命、財産を守り安全で安心な生活を支えるとともに、魅力にあふれ快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する。

### <計画期間>

2021年度～2025年度（5年間）

### <3つのテーマ>

理念のもと、3つのテーマに沿って取組を進める。

#### 1 あいちを高める

日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出する「あいちを高める」取組を計画的に進めていく。

#### 2 あいちを守る

地震・津波、風水害などから県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える「あいちを守る」取組を計画的に進めていく。

#### 3 あいちが輝く

地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する「あいちが輝く」取組を計画的に進めていく。